

物の井戸側を詰めることです。

流しの方へ曲けられたパイプは、地中を通つてお勝手の方へまた折曲けられ、流しの中を通つてその上がポンプになります、流しは銅張りにし、流しの下は戸棚にします、その中をパイプが通るので冷蔵庫の代用にもなります。

玄關に手洗装置

簡便な新案の便所

A 往來をゆく人々や電車の乗客中には、結核、梅毒、癩病等種々な傳染病患者があります。靴には雨のとき泥のつくのは勿論、晴天でも痰、馬糞等不潔物がつきます。ですから私の家には、外出先から歸つて、靴を脱げば直ぐ手を洗ふために、玄關の上り段附近にその装置がしてありますが、他家を訪問したときには甚だ困ります。少々不作法ですが、挨拶もソコソコに便所を借用して手水鉢で洗ひます。しかし始めての家ではさうもなりかねますから、不潔な手のまゝで茶も飲み煙草も喫ひ、つひ話に浮かれて菓子を摘んだり口邊を撫でたりする様なことになりました。

客のためばかりではなく、自分の衛生上必要でもあり、又便利でもありますから、お互に玄關先に手洗の装置をしたいものだと思います。水道のない所では小さい流しと釣りバケツがあれば澤山です。陶製の流しであれば目障りにならぬばかりか、裝飾にもなります。

B 従來の日本家屋便所は大人本位に出來てゐるので、子供には股を廣くするため疲勞し、かつ汚す可能性が多い。理想的なのは水掃式の西洋便所ですが、これは普通の家では高價過ぎるので、私は極めて簡便なものを考案しました。

それはきんかくしの被さる位の箱を作り、その上部（即ち箱の底に）適當な大きさの楕圓形の穴をつくり、西洋便所にまたがつて使用します、この穴の蓋をつくり更に全體にニスかペンキでも塗れば體裁もよくなります。

壁の隙間を塞げ

保温と防濕と體裁

A 日本家屋の従來の壁は、眞壁といつて、柱と柱の間に細い割竹を組合せて、壁土を塗り付ける

のでありますが、仕上つた後、日の經つに従つて乾燥し柱の際が透いて来て、冬など冷い隙間風がすう／＼と室内に吹き込んで來ますし、また反對に暖かい空氣も屋外に逃けて、燃料の不經濟になります。

私の家は柱の面へ細竹を打つて縦横に組み、それに壁を塗つたので、柱の際に透間の出来る心配もなく、外側に張つた横板との間に柱の厚さだけの空氣層が出来て、室内が外氣の影響を受ける事が少く保温防濕の點に効果があります。

私の實行してをります簡単な壁の塗變法を申しあげます。大概の壁は塗りまして一年も過ぎれば、汚れが目立つて參ります。殊に玄關の壁又は戸障子附近の壁は、手垢等が着きまして黒く跡が残ります。こんな時には他所様ではよく紙を張りますが餘り綺麗なものではありません。

壁の汚れが目立て來た場合、私は胡粉（一囊二十五錢位）と膠（十錢で二十本位）を求め、まづ膠を水五合位に七八本入れて煮溶し、その中へ胡粉一囊をいれて良くとけるまで混ぜます。更に刷毛で塗れる程度に水加減をします。

それから着色ですが、色は水彩繪具を溶して薄く混ぜます。薄赤、クリーム、グリーン等々お好

み次第です。私の家は客商賣ですから四季に塗り分けします。以上の如く誠に安價で簡單ですから是非お薦め致します。

おから、掃除の光澤

鏡の様に光澤

私共では新築してから二ヶ年になりますが、一番苦勞したのは長廊下をいつまでも美しく綺麗に保つことでありました。お米の糠を火にかけて焙じたものやエボタなど種々試みましたが、結局豆腐のからが最も宜しいことを発見しました。

白木綿の切れ二尺五寸位のものを二つに切り、その一つ一つを三角の袋に縫ひその中に卵の花を入れたもので良くふきます。

その前に清水でよく普通に拭つておきます。とかく角の部分はごんざいになり勝ちですから、この三角の袋の角でふきますと綺麗になります。そして全部ふき終りましたらメリヤスのシヤツの古物（夏物がよろしい）或は柔かな布でその上を一通り空ふきします。

かうして日に二回朝と夕方と拭いてをりますと、敷居でも廊下でもだんく少しづつ色がつき、薄光りをだします。私共では二年にもなりますから、今では飴色になりまして見るから良い感じがし、鏡の様に影がうつります、かう艶が出て来た後は、空布巾丈けかけて拭いてるます。又豆腐のお湯の冷めたのをバケツに一杯貰つて来て雑布で堅く絞つて拭きましても、普通の水で拭くよりよろしう御座います。

尙、茶がらで座敷を掃く方法が紹介されてるますが、私方では夜具綿の入替へなどで汚れた室内を掃除する時には、新聞紙を二三枚水につけて固く絞り小さく千切つて部屋中にまき散らしそれを箒で掃だします。西洋でも大掃除にはこの方法を取つてるさうですが、茶がらに優るとも劣らぬと信じてをります。

押入れを有効に

洋服箆笥や棚に改造

押入の一部又は全部を洋服かけにする簡単な方法をお知らせします。三尺の押入でしたら、そ

のまゝ中段を取り外し、金か丈夫な木の棒を、洋服を釣るすに適當な高さのところへ、一本か二本横に通せばそれで好いので、十二三着の洋服は樂にかゝります。

この押入の下部の方に簡単な小箆笥を造りつけにし、ワイシャツ、カラーなどを容れるやうにすると便利です。ネクタイは兩側の壁か、或は木製の開き戸なら、その裏へかけるやうに設備するものも結構です。

それから、この押入の上部は大抵薄暗く空間になつてゐるものです。がこゝに棚をつくり季節外の衣類を箱に入れて置くのも一方法です。六尺の押入れでしたら、中間の棚を必要な長さだけ切つて、右の要領でつくれば宜いのです。洋服箆笥は値段も高く、日本座敷でも西洋室でも場所塞ぎで實際はいゝものではありません。

押入れの上の空間は、右の如く洋服入れの時に利用できますが、さうでない場合も、襖の上の横長の壁を取り、板を底に張り、壁の代りに唐紙の戸ぶくろを嵌れば手頃の物入となります。新築の時に初めから、かうすれば體裁もよく出來ます。

簡単な夜の換気

雨戸を少し改造

雨戸の簡単な改造で夜間の換気法が出来ます。普通の雨戸は横棧が五段ありますが、その上部の一段か二段の間を無双窓にして夜間はこゝから外氣を通はせる様にするのです。かうすれば、終夜睡眠中家族が吐きだした悪い空気が自然に外へ出て絶えず新鮮な空気が吸へます。

この無双窓取つけの雨戸は、理想的にいへば、在來の雨戸と同寸法にして新らしく作つた方がよろしい。雨戸一枚約四圓位です。もし借家ならば、大概どの家でも同一寸法ですからゆく先々へ持つてゆけば間に合ひます、盗難の不安がありましたら、無双窓の部分だけ立ポール(金棒)を嵌こみ、また夏の虫防ぎに細かい金網を張ると便利です。

私の家では、この雨戸の外に縁側外側の欄間のガラス障子や縁側と座敷との境の欄間の紙障子を引き違ひに開閉出来るようにして、夜間はこれ等を全部開放し座敷の障子も開て寝てゐます。馴れるとかなり強い風に直接當つても何の障りもありませんが、始めの内は直接風に當らない様

に工夫すれば、よいでせう。どんな寒い晩でも寝衣と夜具で身體を十分暖かくして顔だけ隠して安眠すれば決して感冒をひく様なことはありません。却て感冒にかゝり易かつた人がかゝらなくなり、肺の弱い人は著るしく健康を回復します。

又室内の天井の隅に二ヶ所乃至四ヶ所、七八寸四方位の換氣口を作ると更に結構です。それには金網を張つてゴミなどの落ちるのを防ぐやうにします。

狭い所に小浴室

繩や蚊に備へる金網

A 狭い住宅で、狭い場所を利用して小浴室を設ける方法を御紹介します。それは臺所の一角を利用して、まづ浴槽としては幅二尺五寸長さ三尺深さ二尺位の槽を拵らへ、これへ普通の金物屋で賣つてゐる七輪形の釜を切り嵌ます、七輪の煙突は浴槽内へ曲けていれ、釜と浴槽間に亜鉛メッキ鐵板でスクリーンを設けます。この鐵板は槽が焦げないためです。

この釜で御飯を炊きながら同時に湯も沸く譯です。御飯を炊かない時には釜の載る所に鐵板で

蓋をして火をたく様にすれば、小人数の家庭ではいゝ浴室になります。このお湯をパイプで送れば温室も新設出来ます。

B これからだん／＼惱まされる蠅や蚊の室内防備には窓に網戸を設けるに限ります。私の家の窓は、全部日本式で戸を左右に開閉しますが、柱と柱との間約六尺の窓にガラス戸二枚を普通に取りつけ、餘分に網戸を一枚作りました。これはガラス戸より少し幅狭く外側の戸の溝にはめて、外側はガラス戸も網戸も全然開閉せず掃除などの時にだけ取り外すのです。つまり内側の戸だけを閉じます。

これは縁側や出入口にも應用してをりますが、取りつけは日本式の窓が便利です。冬だけは必要です。費用は銅製の網を使つても雨戸大で四圓位です。

乳兒の移動寢所

空籠利用の蒲籠

乳兒の寢所には、どなたもお困りです。静かで綺麗な所をいろいろ考へました所 自由に何

處へでも持ち運びが出来る蒲籠が一番よいと考へました。そこでバナナの空籠を八百屋から買つて来て手輕な蒲籠を作つて見ました。

作り方は先不用のボロ切れで籠の底の外側や縁を下貼し、その他の全部は新聞紙で貼りくるめ、更にその上を體裁をよくする爲にハトロン紙又は模様紙で貼ります。此中へ二布半か三布の蒲籠を敷き込みます。

そして搔卷で赤ん坊を包み、丁度立つてゐる姿勢でその中へスッポリ入れて置きますと、赤ん坊はだつこでもして貰つてゐる積りで、温なしくしてゐます。少し位泣く時でも縁を持つて揺つてやりますと、またスヤスヤと眠るので大變手が省けます。

行李へ入れて置く方もありますが、あれは猫脊に成り勝ちです。バナナの籠なら大きさも高さも丁度乳兒に手頃で、底についてゐる十文字の竹は、籠を揺るのに詭らへ向きです。お掃除の時も籠の儘そつと次の室へ持つて行けば、乳兒に埃を吸はせずに隅から隅まで掃きだされます。

かうすると、おんぶをして乳兒の胸を壓迫したり、寝かせて許り置いて頭の格好を悪くする事もありません。私もおんぶをしてお互に喰ひながらお臺所をしないですむ様になりました。

室内の温度を保つ法

便利な隙間ふさぎの仕方

新鮮の空気即ち通風の點では、日本家屋殊に安普請のもの以上に適したものは無いでせうが、イザ病人が出来て、六十五度以上の温度を保つやうにと醫師から注意されると困つてしまひます。そこで安建築の日本座敷では火鉢やア油ストーヴを過度に用ゐてガス中毒を起すことになります。かうした場合に私の實行した暖房法を紹介いたします。

暖氣の主として逃げるのは天井の板の隙目からです。二階の直下の室なら新築の時に、この板の隙目を日本紙（通帳の古いものなど結構）を細長く切り天井裏から貼ります。その際糊は糞糊にするると虫も鼠もつかない。

次に壁と柱の間の隙間も、體裁をかまはねば、紙をはるに優つたことはないが、綿を黒か灰色に染めてつめるのも良い様です。着色するのは目立たぬためです。

縁側の隙間も同様だが、縁の下から紙を貼つてもよし綿をつめても宜し、その時糞糊に浸して外にだして遊ばせて置きます。

即ち室内の空氣は出るが、外からの侵入は塞ぐ、それで開けたてには何等邪魔になりません。飯粒で貼ると剥け易いものです。私はこの方法で家族の流感に際し、醫師の注文通りに温度濕氣を保ち、重態であつた三人も難無くなほつた経験があります。貸家住では少くも一間位この設備をして置けば至極便利で燃料と勞力の節約にもなります。

疊の代りにコルク板を

大掃除の時に輕便

A 衛生掃除の度毎に床板を揚げる必要のない工夫を紹介いたします。まづ新築する場合に、普通より稍高く根太ぬきを入れ、土臺との間を一尺餘にします。

そして床板は少々價が高くなりますが米材のえん甲板を張ります。このえん甲は相さくりになつた既成品がありますからそれを其儘に張れば宜しい。さうしますと疊下に隙のない床となります。

一尺餘に高くした床下には、土臺と根太ぬきの間へ引違ひの開閉戸を所々一側に二三ヶ所宛設けます。これは住宅には是非有用で物干竿や梯子などしまつて置くによく、又暑い季節には引き開けて置いて風を通すに宜しいのです。勿論衛生掃除の時はそこから竹竿でも拂へば宜しいので若し犬猫の入るのを防ぐため網戸を用意すれば更に結構です。

B 床から来る濕氣を防ぐため床下をタタキにするのも一法ですが高價になります。私はこの目的を達するのに疊敷の代りにコルク板を用ゐてゐます。コルクは絶縁體のものでありますから、床下から受くる濕氣を絶対に防ぎ、冬暖かく夏は冷かの感じを得られます。それに蚤の發生する事の無いのが何よりです。コルクは疊よりは幾分割高になりますが、これは一回限りで疊替の必要がありませんから経済的です。

椅子、机等を置くにも疊の如く凹凸がありませんから、器物の据りも宜しく、足さばりの感じ

も誠に宜しい。疊敷に慣れた感じを味はひたければ、其上に疊莫産を敷き詰めればよく、至極簡単に却て疊の感じよりは又一層好い様に思はれます。

洗面所の作り方

手軽で氣持がよい様に

洗面所の作り方の大切であることは、今更説くまでもありません。朝の洗面、外出前後、食事、就寝前などの手洗ひや、うがひなど許りではなく、婦人は短時間に結髪整容を、男は鬚剃を手軽に済まし得る様にします。

手軽な作り方は洗面器を置くトタン張の流しと之が載る臺を作る事、この流しの下の臺やその近くに、各人のうがひ用コップ、齒刷子、齒磨、石鹼、クリーム、オキシフル等を納れる抽斗や

ガラス戸付の小棚を設け、その外手拭ひ掛や、かけ鏡を用意すれば立派な洗面所になります。設ける場所は三尺程の間口があれば宜しいのです。日本住宅では縁先がいよけれども冬の夜などは不便ですから屋内縁側、廊下の端、湯殿、脱衣場など、使ふに便利なそして給排水の容易な

所が好都合です。三尺程の高さに出窓を作れば明るい氣持も得られます。

上水道もなく、タンクからの導管設備もない場合には、ニツケルメツキした、カリアンを付けた蓋付の桶を、流しの側から適當の高さに備へて置けば冬でも仲々湯が冷めません。そして排水には流しから地上まではトタンの丸樋か鐵管を、地上は細い土管を用ひます。

水の飛散を防ぐために流しの左右は幾分、前方はずつと高くして置くこと、まだ子供のある家庭では流しや水栓の高さを子供の使用に便利な位にして置くことで、低いのは大人にも決して不便ではありません。

廊下を綺麗に保つ

便利なワツクス

廊下を綺麗に何時も光澤がいゝ様に保つために、豆腐のおから拭きも結構ですが、豆の汁(大豆一合を一夜水に浸して搗り潰し五合の水を加へて絞つた水)でも効果があります。

がこれは時間がかかるのと、一度風が吹くと、拭き込まない中に汚れますので閉口します。

或知人からワツクスがよいと教へられ、早速塗りました所、雨や水がかゝつてもはじけて滲まず、芥や埃にも汚れず大變調法でした。

ワツクスは靴墨に似たもので、一罐(二圓で三越邊のデパートで賣つてゐると思ひます)で随分塗れます。只塗らたては滑つて歩くのに少し危ないやうです。

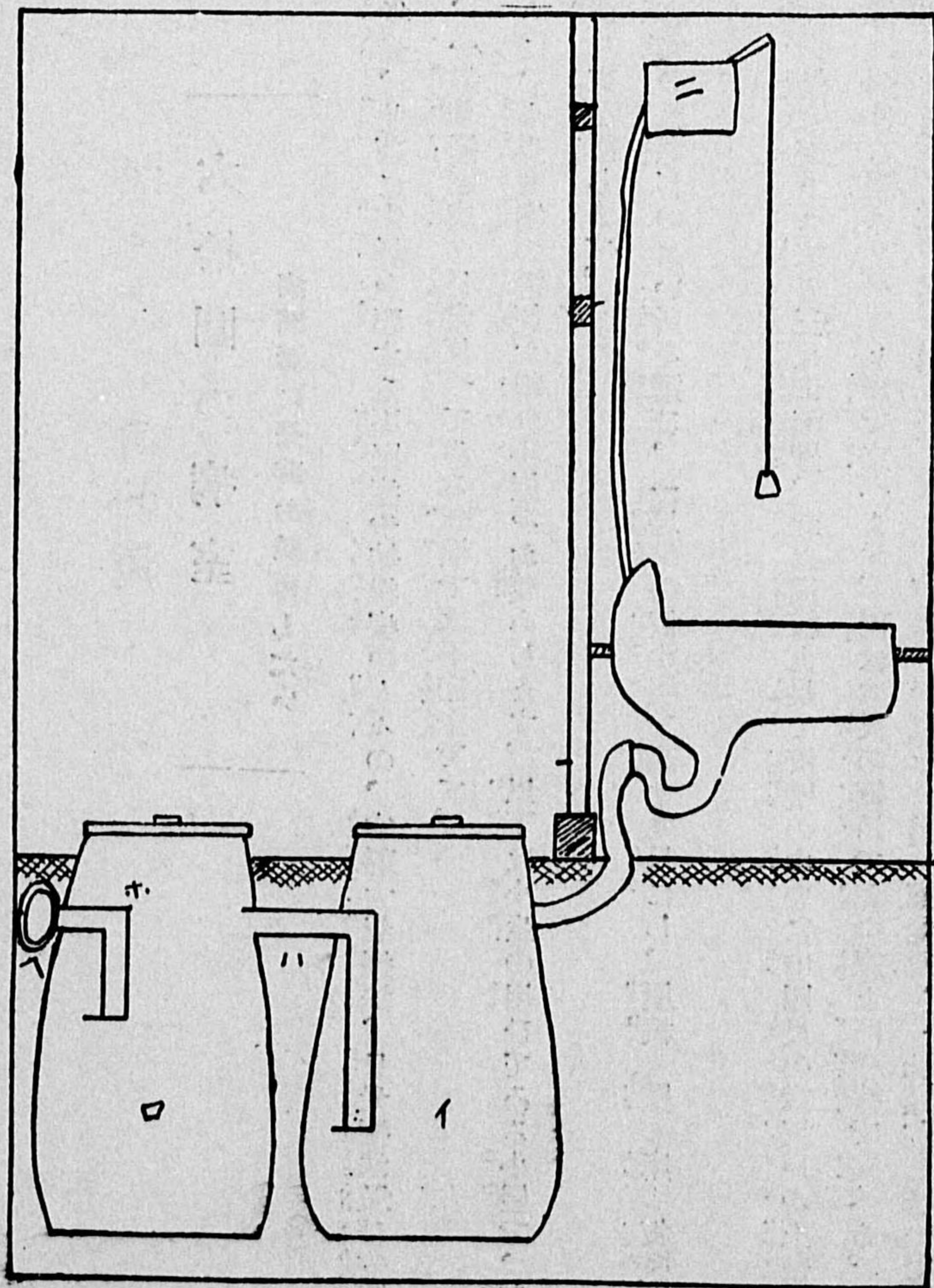
塗る時には板の合せ目に入れないやうに注意し、一撮みを布につけて軽く塗りつけ、その後を乾いた雑布で少し擦ります。其後は空拭きをするだけで良いのですが、私は埃を取る爲、時々濡れ雑布をかけました。

最初、豆汁で拭いて置くと黄味がよつた色が着きますが、ワツクスだけを塗つた所は稍や赤味がかつた色を呈して、何時までも艶々しく美しい儘です。

戸障子の溝に塗ると滑りがよく決して汚れません。襖、障子の手の當る所に塗つて置くと垢がついても直ぐとれます。

殊に白木類の艶出しには、もつて来いです。

手 軽 に 使 える 所 の 改 善 装 置



便 所 の 改 善 装 置

約九十五六圓で出来る

何よりも一番先に改良したいと思つてゐるのは、在來の日本式便所です。水洗式便所が最もよいのですが之は経費の關係上、中流以下の吾々では實行出来ません。

で次の様な方法で、試みにやつてみましたが結果が甚だよく家族一同も喜んでゐます。

先づ古い糞二個が手に入つたので之を便所の窓下に並べて埋め、この糞を三インチの鐵管で連絡します。そして便器は水洗式にして、この上に水溜りの水槽(ニ)を取付けます、そして便器と

(イ)の糞を鉛管で接続すると全く水洗式となります。

(ロ)へ來た上澄の汚水は直ぐ汲取るか、事情が許せば(ホ)から排水管(へ)に通じて、汚水を地中に吸収させる方法を取るのが一番結構です。しかしこの法は、淨化装置が極く不完全ですから何處の土地でも實行出来る譯ではありません。以上の總経費は約九十五圓位で済みました。便所の外に雨水を溜めて取る用水槽を備へつけて、水槽(ニ)へ聯絡するのも、天然水利用のいゝ方法

です。

六拾圓の病室

病弱者に是非お奨めしたい

通風、採光、並びに安静を要する不眠症や結核症の人々の、安静大氣療法、日光療法及び安眠の爲には、一般普通家庭の日常使つてゐる部屋では不完全です。

そのために、小生考案の簡便な離れ小屋をお奨めします。以下は小生の用ひてゐる小屋で、御参考迄に造り方を記します。

場所は庭内の風通しのよい所を選び、一坪半の板小屋で高サ九尺にし、屋根も壁も床も板張りにします。

南は六尺の曇りガラス窓と三尺の板壁、北は同様九尺で板壁の中央に巾四尺の窓板戸を上部に蝶番で取付け開ける際はツツカヒ棒で支へます。西は六尺の板戸で北の窓と同様棒で支へる。

東は三尺が入口、三尺が窓で共に曇りガラス戸。四方全部の窓の上方に、一尺乃至二尺の欄間

を附し、左右に開閉の出来るものとします。(最も安価な通風装置)

天井は夏の暑さを緩和するのに必要です。設備としては、電燈一個、南窓に稍や暗色のカーテン一枚、板造りの寝臺一臺椅子一脚、これが全部です。

四分板の隙間や節穴からの風は、経験の無い人の思ふ程苦にならず、私は全く忘れてゐる位で寒中も晴天は中々暖かく、南だけ開いて全裸體で日光浴をします。夜も上方の欄間は必らず開いて置くのです。右の造り方は風と日光との調節に甚だ便利と信じてゐます。

扱、この一坪半の小屋の生活も、中々趣味深いもので四方から大空が見えるから視界は晝夜無限の遠方まで及ぶし、空氣と日光とが小屋の中の人間を草木と共に公平に愛してくれるし、鳥は桐の枝から私の臍を覗くし、頗ぶる平和安静なものです。日没も臥ながら眺められるし、片手を出せば書籍に手が届く、夜はレシーバアを耳に當て、佐渡のおけさ節を聴いてからガラスの尿器で用を達し、電燈のスイッチを捻ると電氣安火で足が温まるといふ寸法、要するに空氣と日光と安眠静養が得られ、簡単な掃除で清潔が保てます。

病人のみと言はず獨身者は採用して大いに便利だらうと思ひます。六十圓で衛生住宅が出来る

譯です。

雨水を飲料に

これ程淨いものはない

これ程雨の多い日本で天然水を利用しないのは不思議です。殊に水道設備のない郊外別荘、水質の悪い地方等で天然の良水を空しく捨てて了ふのは惜しいことです。

屋根から下がる樋の下に、底をコンクリートにしたビール樽か又は土管——天水桶を置きますと、一雨で忽ち一杯になり、茶の湯、飲料水位では次の雨までには決して事欠きません。

餘りがあつたら化粧用としても宜しい、洗濯用としても充分使へます。天下に之程の淨水はありません。一度この天然水を使用して味を覺へたら二度と井戸水などには手が出せません。

詳しくいへばサイホン仕掛けにして、底水から先に外へ流れ出る管、初めの雨水を外へ出すための切りかへ樋、天水桶の蓋なども要ります。大仕掛に作るには、コンクリートのタンクを土中に半分埋め、床下などを利用すると宜しい。

私は鎌倉で之によつて始めて甘い茶にありつき、東京の郊外、水道のない所で大變便利な經驗をしました。

切込暖爐

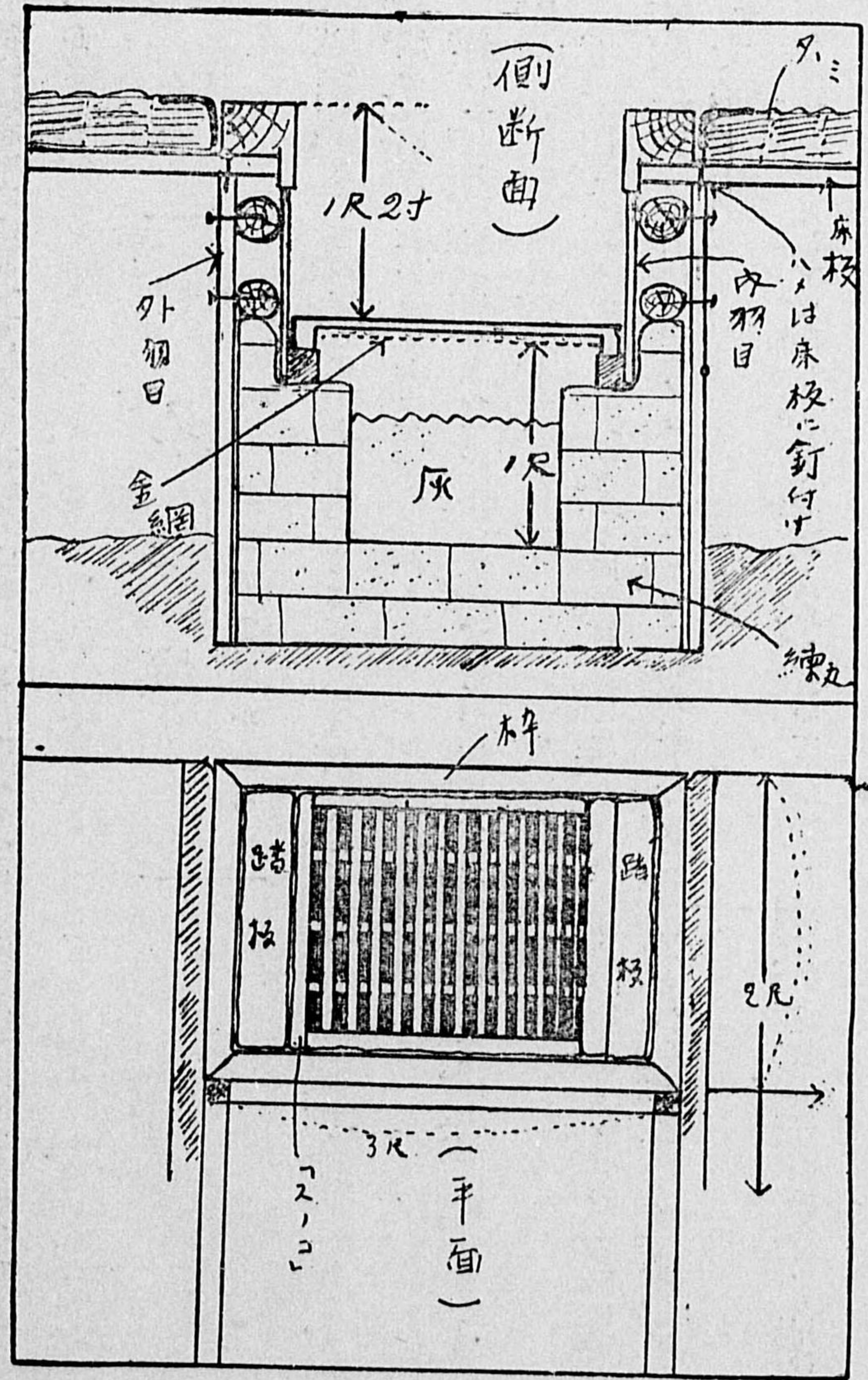
簡單で實効がある

暖房装置として敢て新工夫と申す程ではないかも知れませんが、極めて簡單で効果がある切込暖爐を掛唱致したいと思ひます。

疊の一部と床板を切り取つて床下へ火床を掛け、四周を嚴重に防風して床上迄も圍ひ、これに疊と平面に柵をはめ込みます。

火床の上へ「スノコ」を張つて疊と同平面の柵に腰を掛けて足底が恰度「スノコ」の表面に當る程度の深さに仕上げ、「スノコ」の柵を成可く細かにして裏に目の小さい金網を張れば出來上ります。

冬は暖房用として火持ち宜しく、上へ食卓を置いて食事もし或は机として書見の場合にも用ひ、



毛布か掛蒲團を掛ければ殆んど全身を暖めることが出来ます。

他に洗濯物の乾燥、お櫃の保温場として外の便益を伴ひますし、夏は枠を取外して床板を敷き畳と入れ換へが出来ます。或は其儘にして置いて、やつと立ち初めた頃の幼児の安全な遊び場にも應用出来ます。

寸法は二尺に三尺位か、三尺四方が手頃です。深さは畳面より「スノコ」面まで一尺二寸これより火床の底まで約一尺が適當です。材料は火床は練瓦を心にしてセメントを塗り、四邊を二三寸巾に盛り上げ、これを挟んで羽目を内外二重として張り廻します。

外羽目は見えぬ所ですから、どんな木でも厚い程いゝのですが接目は念入りにブリキ等で風が侵入しないやうにする必要があります。

枠と内羽目は勿論適當な材を選ぶ必要があります。三寸角の米檜の枠に、羽目を松材として二尺と三尺大のものを最近造りました所、大工、左官の手間とも全部で約四十圓以内で出来上り、頗る便益を感じてゐます。

臭くない便所

臭気抜ききの二考案

A 如何に借家建の安普請でも、便所の臭気抜き位は拵らへてあつてもいゝやうに思はれるので、實際は、そんな親切な家主などといふものは絶對にありません。

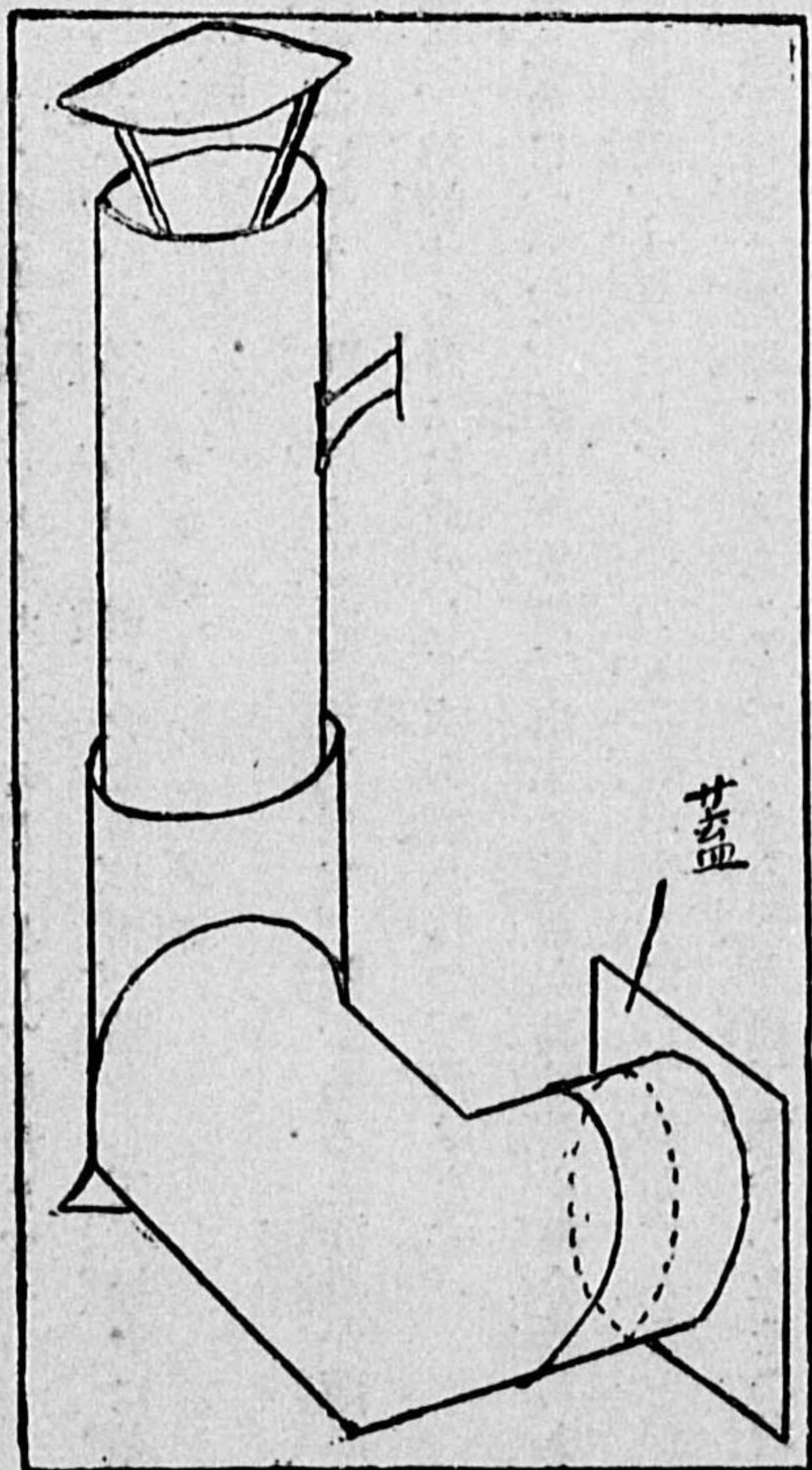
で、臭気どめの薬位で我慢して居るのですが、臭気止めの薬の匂いと便所の匂いとが混つて不愉快な結果を呈するものです。

矢張臭気抜きを拵るのが一番です。けれども借家に對して完全な設備をする事は、何時移轉するかも知れない身として、一寸考へるものです。

それで私は、なるべく金の掛らぬ程度で安全に近い、そして移轉の際は持運びの出来る様な物を考へて、汲取口を其儘利用しまして一工夫凝らしてみました。

先づ汲取口の蓋を切抜いて五寸位のトタンの筒を嵌め込み、汲取口の側に長さ二間位のトタンの圓筒を壁に取付け、下をL字形に造り廻轉する様にし、蓋の圓筒に嵌め込みます。

【解 圖】 適度の長さの圓筒を壁に取りつけ、下方に嵌め込んだL字形の圓筒を、左右自在に廻轉できるやうにし、汲取口の蓋に嵌めた筒にピッタリと嵌まる様に作ります。



そうしますと、この装置が完全に臭気抜き役目効果して呉れます。

汲取る時には、之を抜いて蓋を取り、終つたならば再び蓋をして元通りに差し込んで置くやうに汲取人にも依頼して置きます。

蓋は口との隙がないやうに別に造る方が理想的です。隙があると効果が薄いものです。費用も極めて僅かで済み、移轉する時には取外して次の家へ持つて行けます。

B 便所の臭気止めについて、極めて安價で出来る簡単な實驗談を紹介致します。悪臭を止め同時に蛆虫の湧くのを防ぐ方法としては米のもみ殻を燻炭にして撒布することが一番です。

この製法は農家では殊に簡単に出来ることで、もみ殻を籠で燃やしたその後で、直に石灰窒素の空罐の様な物の中に入れ、半日位密閉して置くと出来上ります。これは煙突を利用して作ったものなら更に上等です。

撒布の方法は便所に應じた適宜な箱の中に右の燻炭を納れて備へ置き、用事が済んだら各自が直ちに撒くのです。かうすれば、直ぐに人が替つても不快な事なく臭気止めのみならず、夏は蛆の発生を防ぎ、また燻炭の性質上、糞便中の肥料分の發散を防ぎますから、農家等に取つては經濟的にも甚だ有効であります。

注意すべきは、灰交りの燻炭を使用せぬ事で、それを投ずると悪臭を放つと同時に大事な肥料分が失せてしまひますから注意が肝要です。

この外に農家でしたら、小用所を汲み上げた後の悪臭止めとして直ちに清水二三升を注ぎこむことです。これは清水が便中のアンモニヤを吸収し、肥料の容積が増えて極めて經濟的です。

徹底的に鼠を防ぐ法

家を新築する方々へ

私の家では昔から、厄介物の鼠退治法に就いて研究を續けて來ました。先づ第一に鼠の性質をよく知らねばなりません。

鼠はひどい近眼ですが、嗅覺と聽覺とは人間等の到底及ぶ處ではありません。又食餌のない家には決して生活しません。従つて子孫も繁殖しません。鼠の明るい處が嫌ひなのは誰でも知つてゐる所です。その爲に彼等の出沒する場所に電燈を特に點じたり、又通路に杉の葉や、布海苔等

を詰めたりして見ましたが、皆無効でした。

今度、新築しました家に、次の方法を行ひまして好結果を見ました。先づ食物やその材料は臺所以外、出しつ放しにしない様にします。

次に鼠が臺所に出る穴を調べますと、大抵、流しの排水口か階下の天井裏、或は土間の上り框の下や巾木と土面との間に鼠自身が穿つ墜道のどれかからです。

そこで、水流しは混凝土にします、そして土臺に近く排水口を設け、ヒヨットコ土管の三寸物で、その下を抜いて溝に出します。土管の落ち口には、七輪の火皿で蓋をし、鼠が下から持ち上げない様に小石を重しに載せるか、コンクリートで固着させます。

次に上り框の下部は、木造ではいけません。土間の壁に接續して、古練瓦か類似の材料で土面から築き上げ、その上に框材を横たへます。水流しの周囲の破目板も、これと同様の構造とします。その外面は勿論モルタル塗り仕上げとします方が、清潔上にも體裁上にもよいと思ひます。

私の家では土間も流し同様、モルタル塗りとしました。その方が衛生上にも有効で且つ鼠が下から出るのを完全に防げます。

臺所には、天井板を張りつめれば、完全ですが、經費その他の點を考へて、これを設けません。この際は壁上から屋根裏の垂木まで、防鼠金網を張りつめます。この間隙が狭い場合には、亜鉛引平板を切つて、釘打ちにしますと一層好都合です。防鼠網は、亜鉛引鐵線の物で結構です。網目の形は四角のは、鼠族に破られる患があります。龜甲形が最上で、五分目位が適當です。巾は色色ありますから間隙に應じて適當の金網を選ぶことです。

天井裏を鼠が跳ね廻るのは、不愉快ばかりでなく不衛生です。鼠の尿が滴たり落ちる話なども少くありません。私の経験から二階床の板張りを上げ、胴差しの下端と天井の廻縁との間、約一尺位の場所に、荒壁の内側へ例の防鼠網を張りつめました。

鼠が天井裏へ昇る徑路は、普通の家屋では屋外から土臺下を藻潜つて入り込み、床下の荒壁を内側から喰ひ破つて、下見板と壁との間を、梯子上りに匍ひ上り、胴差しの下端の荒壁を外から穿つて穴を開けて天井裏へ飛び出すのです。

そこで、天井裏へ出る場所を金網で遮断されましたから、鼠は一舉に二階天井裏まで壁の中を梯子上りをやらなければ跳梁の場所がありません。さうして二階の押入れなどの天井板や壁體を

完全（完全）にすれば鼠（鼠）が屋内（屋内）に入り込む隙（隙）は、絶對（絶對）になくなります。私は壁（壁）は特（特）に入念（入念）にして、見えぬ所（所）でも、全部（全部）漆喰塗（漆喰塗）りしました。かうやつた結果（結果）、私（私）の家では屋内（屋内）に鼠（鼠）の片影（片影）すら見（見）たこともありません。

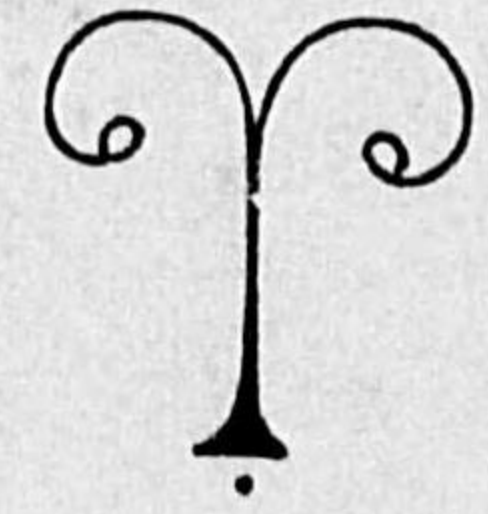
—(をはり)—

健康新道

定價金壹圓

不許	製	發行日	昭和三年五月五日
		發行日	昭和三年五月七日
著者	發行者	印刷者	印刷所
東京朝日新聞社	東京市麹町區内幸町一ノ五 平井正之	東京市牛込區早稻田鶴卷町四三 谷口熊之助	東京市牛込區早稻田鶴卷町四〇三 紘社
發兌	東京市麹町區内幸町一ノ五 振替東京六〇〇參壹番	東京市麹町區内幸町一ノ五 振替東京七八〇壹〇番	國際圖書出版部

5/1605
E
4



61
365

終